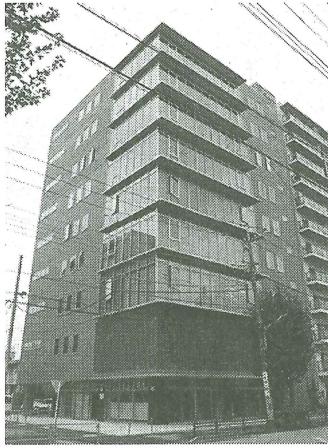


# ポラスグループ 関連会社の新本社ビル竣工 大型案件の受注に意欲



④新本社ビル「ルビアテラス」外観  
⑤第一エネルギー設備の3階事務所内



ポラスグループで総合建築業を営むポラスグループは10月19日、同グループでLPガス供給を軸にガス器具や住宅設備の販売、水回りのリフォーム等を手掛ける第一エネルギー設備の新本社ビル（埼玉県越谷市蒲生茜町）の内覧会を開いた。建物は9月に竣工。設計・施工はポラスグループが担当し、同ビルには同社の本社も入居した。

同社は第一エネルギー設備の新本社ビルの売り上げを含め、21年度の売上高で48億5000万円（前年度比55・8%増）を見込む。内覧会で伊藤一取締役は「賃貸事業はグループの中で新たな柱の位置付けだが、ビル建築もしっかりと足跡を残していけるような営業活動を行い、設計・施工をアピールし、大型案件を受注していきたい」と抱負を述べた。

新本社ビルの名称は「ルビアテラス」。「ルビア」はアカネ（茜）属の学名から採られた。構造は重量鉄骨ラーメン構造の9階建て、高さは34・7メートル。同社が手掛けたオフィスビルでは階数・高さなど最大規模だ。敷地面積は9377平方メートル、延べ床面積は37192平方メートル。工期は20年9月～21年9月。総事業費は11億9200万円。

立地は東武スカイツリーライン蒲生駅から徒歩1分。新本社ビルは第一エネルギー設備の2階建ての事務所ビルを建て替えたもの。かつてはポラスが本社を構えていた場所であ

り、同社グループにとって由緒ある立地だ。第一エネルギー設備は新本社ビルの3～5階に事務所を構え、9月末から業務を開始した。事務所はフリーアドレス制を採用している。2階に会議室、9階にブースで仕切られたソロワークスペース、リフレッシュルームを配置した。1階にはポラスのリフォーム、ポラスグループがショールームを構え、6～8階は同社、およびポラスオーナーズの本社が入居し、10月から業務を開始している。

屋上には容量16・12キロワットの太陽光発電システムを備え、建築物省エネルギー性能表示のBELS評価で最高ランクの5つ星を取得した。また、非常時のガス発電機から供給される電力は、地域住民がショールームの非常用コンセントから携帯電話の充電等に使用できる。1階に設けた防災備蓄倉庫は今後、非常時の地域開放を検討する。